

事務事業 No./名称	■サービス部門 まち-12 風致保存会助成事業 □支援部門						
主管課	みどり課	関連課					
分野名	みどり						
目標 (目標値)	鎌倉の歴史的景観と豊かな自然環境を後世に伝えるために活動している(公財)風致保存会の組織の充実を図り、自主的運営の強化を図る。						
人口等のデータ	データ区分	23年度	22年度	21年度	備考 ・各年4月1日 (住民基本台帳)		
	人口	177,204人	177,161人	176,669人			
	世帯数	79,217世帯	78,812世帯	78,131世帯			
運営資源状況	事業の対象者数						
	決算値(千円)	14,376	211,611	17,499			
	(国・県)						
	(負担金等)						
	(一般財源)	14,376	211,611	17,499			
	人員配置数	0.2	0.2	0.2			
	人件費(千円)	1,780	1,828	1,845			
事務事業運営経費	協働のパートナー						
	総事業費(千円)	16,156	213,439	19,344			
	市民1人当りの経費(円)	91	1,205	109			
ベンチマーク (県内外自治体や民間団体との比較値)	団体名⇒						
指標	評価	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終年度(年度)
		目標値					
◎目標を達成 ○目標に向かって前進		実績値					

評価のポイント

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

小事業名	H23決算値	評価	適切=○、要改善=△(評価の視点を参照)	⇒ 方向性	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止	
風致保存会運営事業	14,376千円	①効率性 ○	②妥当性 ○	③有効性 ○	④公平性 ○	⇒ □A ■B □C □D □E
	事業の概要	(公財)風致保存会の育成と事業の円滑な推進を図るための助成事業				
		①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	⇒ □A □B □C □D □E
	事業の概要					
		①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	⇒ □A □B □C □D □E
	事業の概要					
		①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	⇒ □A □B □C □D □E
	事業の概要					

事務事業の課題及び取組状況

H23年度の課題	風致保存会が実施している多くの事業は、営利を目的としていないため、自主財源での運営は困難な状況にある。しかし、平成23年度に公益財団法人に認定され、税制上の優遇措置を受けられるようになった利点を活かし、寄付金や会員の拡大を図るとともに、事務所維持経費削減等、財政基盤を強化する必要がある。
課題解決のための取組	経費削減のため、事務所休館日(月曜日)を設定する等、事務所維持経費の削減を図った。引き続き、経費削減と自主財源確保に向けた検討を求めていく。
未解決の課題	

中事業の評価と今後の方向性

中事業の評価	適切=○ 要改善=△ (評価の視点を参照)	①効率性 ○	今後の方向性	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止	※□事業完了
	➡	②妥当性 ○		風致保存会の安定運営を目指すため、トラスト運動との連携を更に進め、寄付金や会員の拡大等、組織・活動の充実に向けた支援を推進する。	↓
③有効性 ○		B			みどり課長
④公平性 ○					川名 達哉

(2面) 個別事業の概要

(単位:千円)

小事業名	ザイムスコード	個別事業名	23年度予算	23年度決算値	個別事業の評価結果
風致保存会運営事業	主な個別事業	309 風致保存会運営費補助金	13,415	13,415	■適切 □見直し余地あり
		309 風致保存会寄付金等積立金	600	480	■適切 □見直し余地あり
		309 風致保存会寄付金	600	480	■適切 □見直し余地あり
	主な個別事業				□適切 □見直し余地あり
	主な個別事業				□適切 □見直し余地あり
	主な個別事業				□適切 □見直し余地あり
	主な個別事業				□適切 □見直し余地あり
	主な個別事業				□適切 □見直し余地あり